

さて、今年もあっという間に過ぎ、また新しい年を迎えましたね。今年も体に気をつけて過ごしたいものですが、病気になるとやはり勝てません。そこで日頃の予防が大切になってきます。外出が多くなる年末年始ですが、どうしても人混みの中に入ります。そんな時はマスクなどをして予防をしましょう。自宅に帰ってからも必ず手洗い・うがいをしっかりしましょう。また、日頃の生活リズムを整えて、規則正しい生活を心掛けていきましょう。

楽しい！うれしい！クリスマス会

12月の支援センターの活動は、クリスマス一色となりました。センター以外にもママさんサークル「おひさまキッズ」でもクリスマス会を行いました。

ここにこ学級では、お母さんが「北風と太陽」の劇を行い、スタッフはミュージックベルを使ってクリスマスソングを3曲披露しました。サンタさんも登場してプレゼントをもらい、最後にみんなでホットケーキを焼いて食べて、子どもたちは大満足な様子でした。

親子遊びの広場では、保育所のクリスマス会に参加させてもらい、保育園児と一緒に歌を歌ったり、踊ったりして楽しく過ごしました。親子の皆さんにとって思い出になるクリスマスになったことでしょう。

冬にかかりやすい病気～その2～

11月中旬から少しずつ、【アデノウイルス】と【溶連菌】と言う感染病が流行しています。特に大人がなり、その後お子さんに感染するケースが見られます。病気の症状などを知り、予防をしていきましょう。**【アデノウイルス】**

40度以上の高熱が続き扁桃に白斑点ができる。症状は、咽頭結膜熱・扁桃炎・肺炎・胃腸炎など様々な症状が出る。40種類以上あるアデノウイルスの感染によって起きる。

治療と対応

ウイルスそのものに効く薬が無いため水分補給と点滴治療を行い、回復を待ちます。感染するため、症状が出ている子どもにほかの子どもを近づけないことやうがい・手洗いを心掛けましょう。

【溶連菌感染症】

溶血性連鎖球菌（溶連菌）による感染症。咳などの飛沫感染が中心。3歳以上の子どもに多く見られる。通常2日から4日の潜伏期間を経て発症。38度から39度前後の発熱、のどの腫れや痛み、首のリンパ節の腫れが見られ、その後赤く発疹が体にたくさん見られるようになる。3日から4日後には、舌がいちごのように赤くぶつぶつができる。そのほか、頭痛やおう吐、腹痛を伴うこともある。

治療と対応

抗生剤で治療。服用後1日から2日で発熱やのどの痛みが消え、数日で発疹が消えるが、後遺症を防ぐために必ず抗生物質は飲みきること。

保育所の元気な子どもたち

幾寅保育所では、12月10日にひまわり組の園児とお母さんたちが、寿倶楽部のおじいちゃんおばあちゃんともちつき会をしました。サンタのおじいさんと



一緒に大きな杵を持ってもちつきをしました。園児は歌や手遊びを披露したり、ゲームをして楽しく交流しました。つきたてのおもちは、きな粉もちやごまもちにして、おいしくいただきました。



金山保育所では、12月6日に父母の会主催によるもちつき会を行いました。お父さんと一緒にもちつきをしたり、ついたおもちはお母さんたちが丸めて納豆もちやお雑煮にして食べました。この日はお世話になっている地域の皆さんを招待して、一緒に食べて交流し、楽しい1日を過ごしました。